

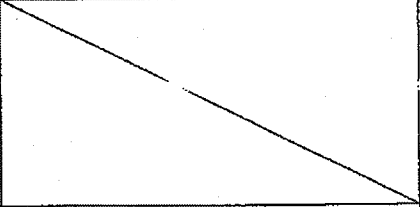
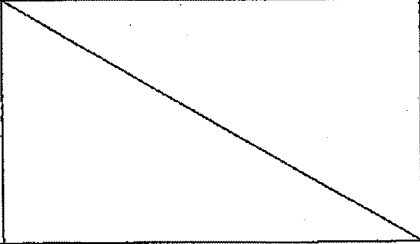


5.4.27 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会医療法人葦の会	代表者	福祉部 外 伊奈根哲也	法人・事業所の特徴	同法人内に居宅介護支援事業所 地域包括支援センター 訪問看護ステーション ヘルパーステーション、通所介護（パワーリハビリ）グループホームがあり、常に利用者にとって必要なサービス、ケアを提供できる体制を準備しています。同法人の訪問診療所 シヤロンクリニックのDrとの連携も密になり、在宅での看取りも今まで以上に充実することができました。
事業所名	小規模多機能型居宅介護ノア	管理者	大田千登勢		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	人	人	人	1人	1人	2人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 法人内の研修以外に、事業所内での実技研修を取り入れていく。 オムツの充て方、お互い負担にならない移乗の仕方、レク活動の内容（体操に関すること） 	感染症に関する事業所内研修では、実技を取り入れて実施出来たが、オムツの充て方など人間での伝達のみで、研修計画を立てる事が出来なかった。		事業廃止の為、記載なし
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 屋上菜園での手入れ（水かけ、雑草取りなど）利用者として出来る範囲で行えるようにする。 	外気浴を行いながら、屋上で過ごすこともあったが、手入れを定期的に行うことは難しかった。		事業廃止の為、記載なし
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 感染状況も見ながら、地域の方のサークルの場を提供できるようにチラシの配布を再開する。 まちづくり協議会への参加 地域の保育園、学校等との交流が出来るようにする。 	コロナの影響もあり、地域との交流は少なかった。オレンジカフェや、まちづくり協議会への参加は、感染状況を見ながら参加することが出来た。		事業廃止の為、記載なし
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 年間行事の中で、外出が必要な行事に関して、有事にて実施できない場合は、代替の行事へ臨機応変に対応していく。 利用者の「以前の暮らし」をヒントに本人のなじみある場所へ、ドライブなり行けるようにする。 	地域の祭りなど、コロナの影響もあり中止となったが、代替として事業所内で開催し、臨機応変に対応をした。ドライブでは特定の利用者が出かける事が多くあり、計画的に予定を組んで準備する事が出来なかった。		事業廃止の為、記載なし

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者、ケアマネ以外の職員も、交換で参加できるようにする。 ・ネット環境（zoom）の設定を行い、オンラインでも会議を行えるように整備する。 	<p>他の職員への参加を促すことが出来なかった。ネット環境は整えていたが、設定が出来ていない。今年度は、対面での会議を開催することが出来た。</p>		<p>事業廃止の為、記載なし。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での防災、災害訓練へ積極的に参加する。 ・備蓄品の確保、点検を定期的に行い、備える。 	<p>年2回防災訓練は行えた。地域での災害における訓練への参加は行えていない。定期的に備蓄品のチェックは行っている。不足分に対しては早めの準備を行えるようにする。</p>		<p>事業廃止の為、記載なし。</p>